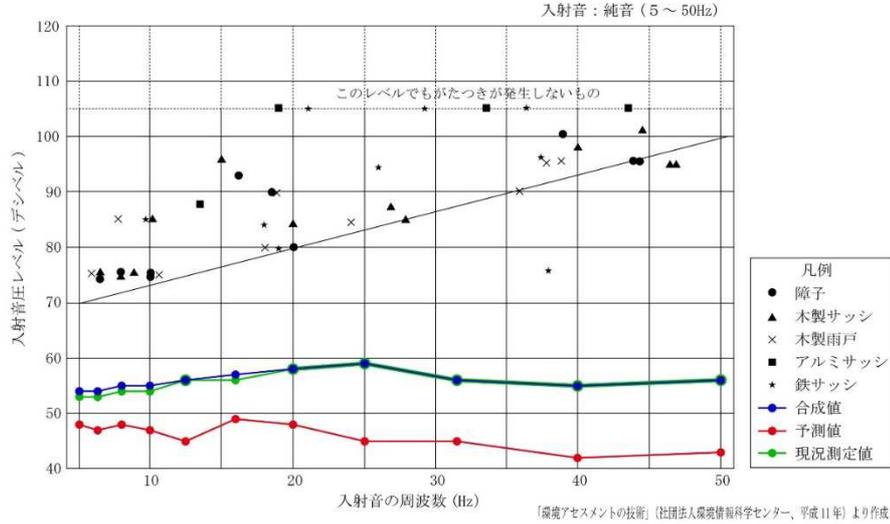
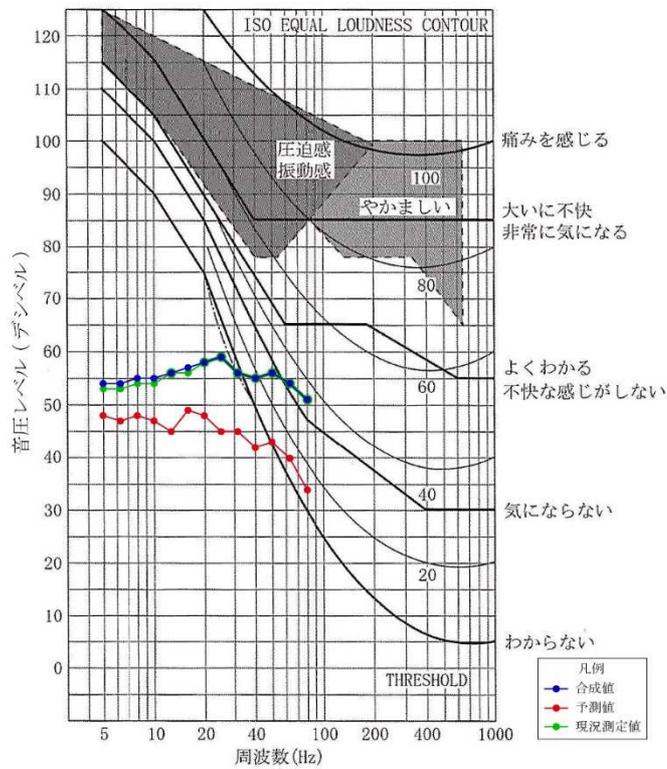


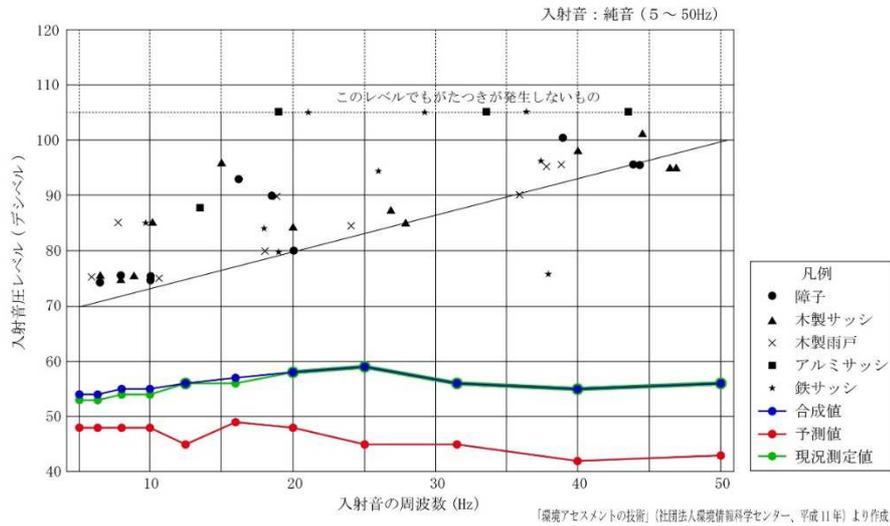
第 12. 1. 1. 4-4 図(19) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 1 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-5 図(19) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 1 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-4 図(19) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 1 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-5 図(19) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 1 : 休日 夜間)

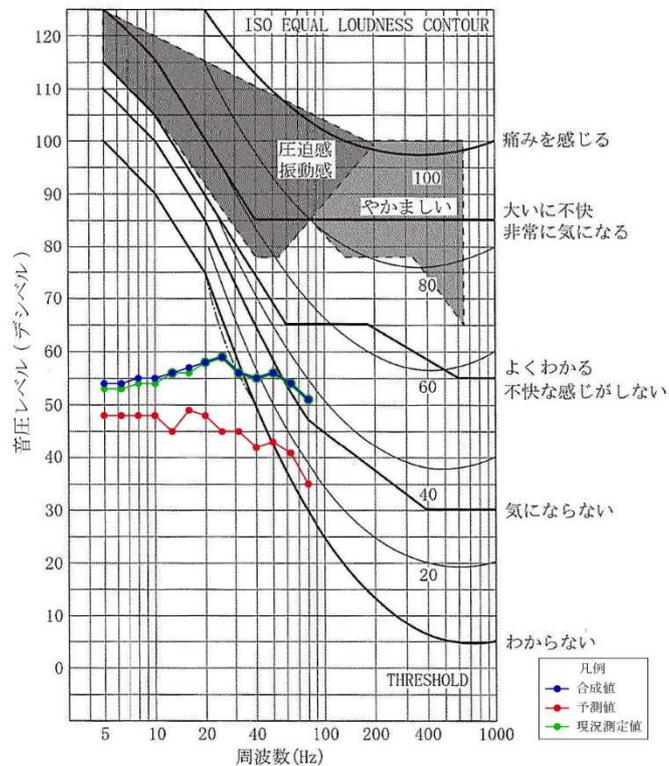
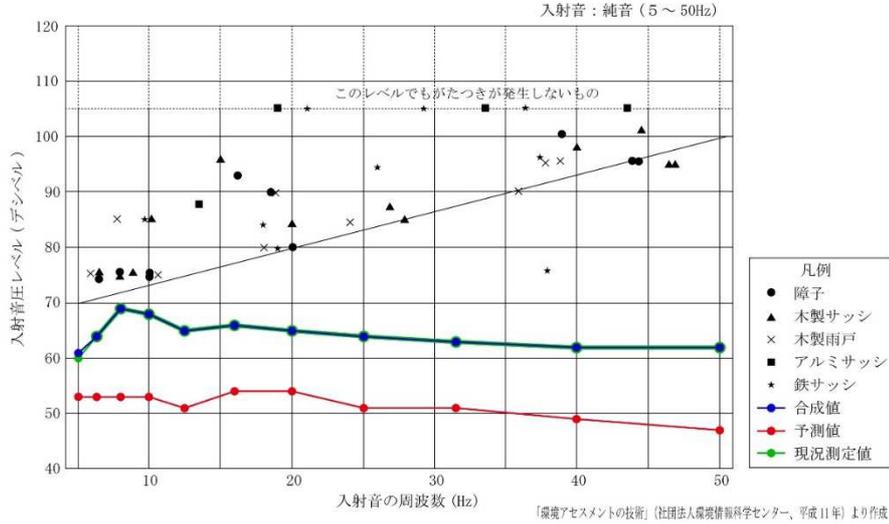


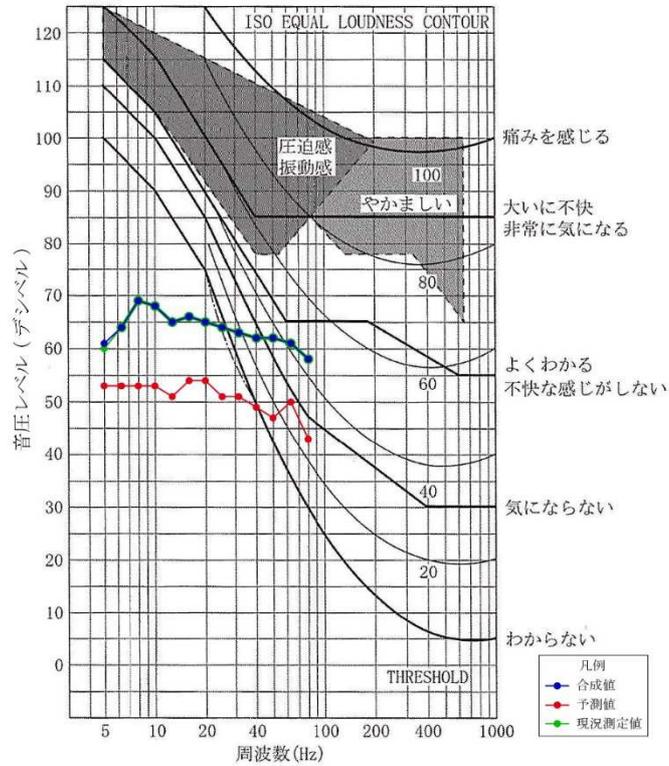
表-45 準備書記載内容の修正内容 (準備書 p12. 1. 1-364 [886])

現行 (準備書 p12. 1. 1-364 [886])

第 12. 1. 1. 4-4 図 (20) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 2 : 休日 夜間)

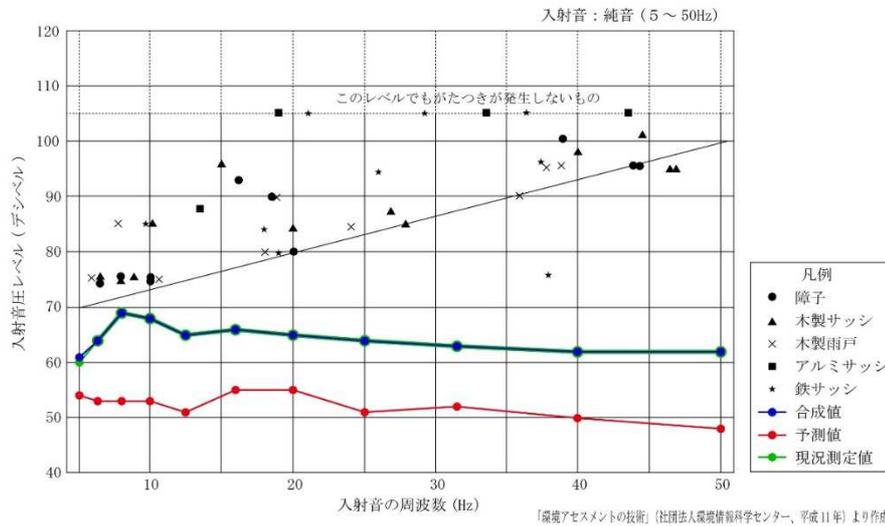


第 12. 1. 1. 4-5 図 (20) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 2 : 休日 夜間)



修正後

第 12. 1. 1. 4-4 図(20) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 2 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-5 図(20) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 2 : 休日 夜間)

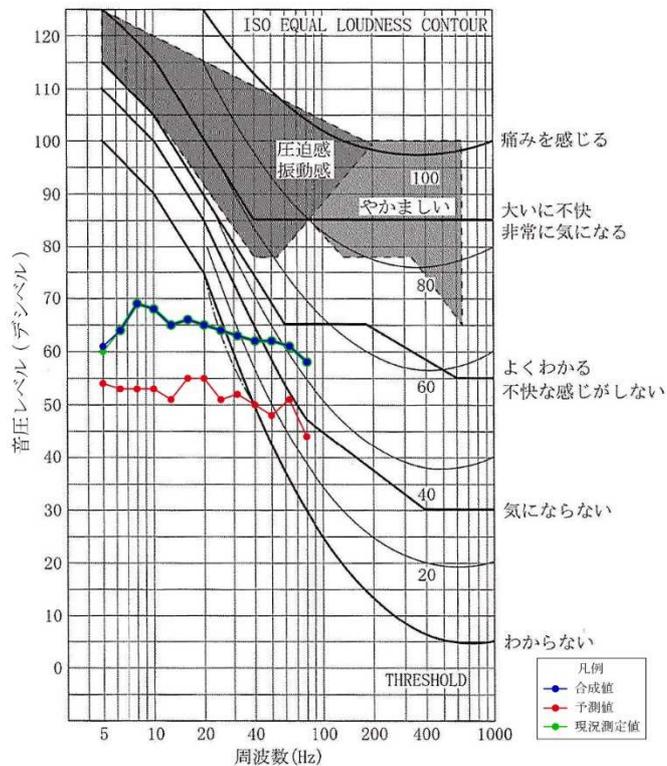
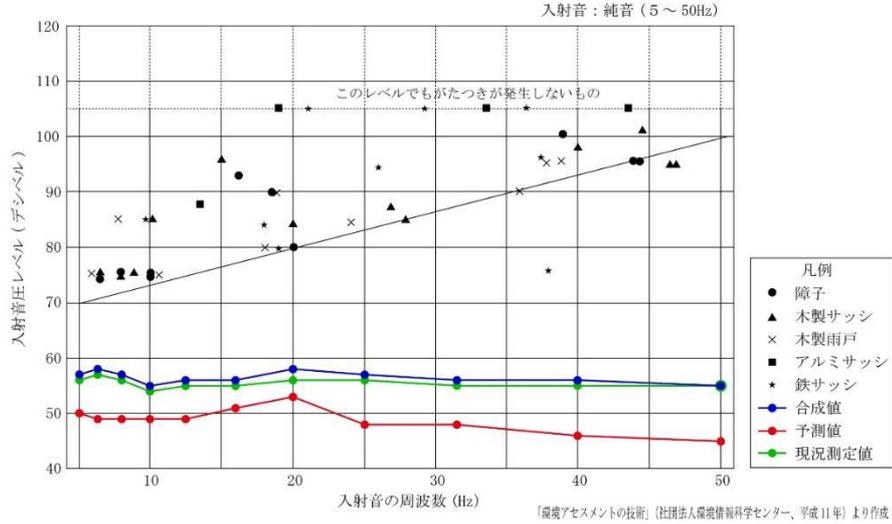


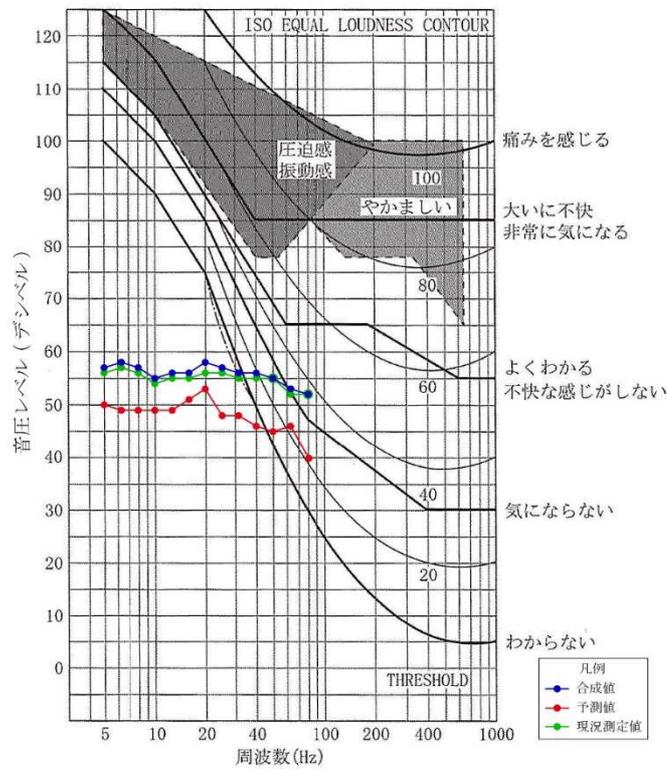
表-46 準備書記載内容の修正内容 (準備書 p12. 1. 1-365 [887])

現行 (準備書 p12. 1. 1-365 [887])

第 12. 1. 1. 4-4 図 (21) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル (周辺 3 : 休日 夜間)

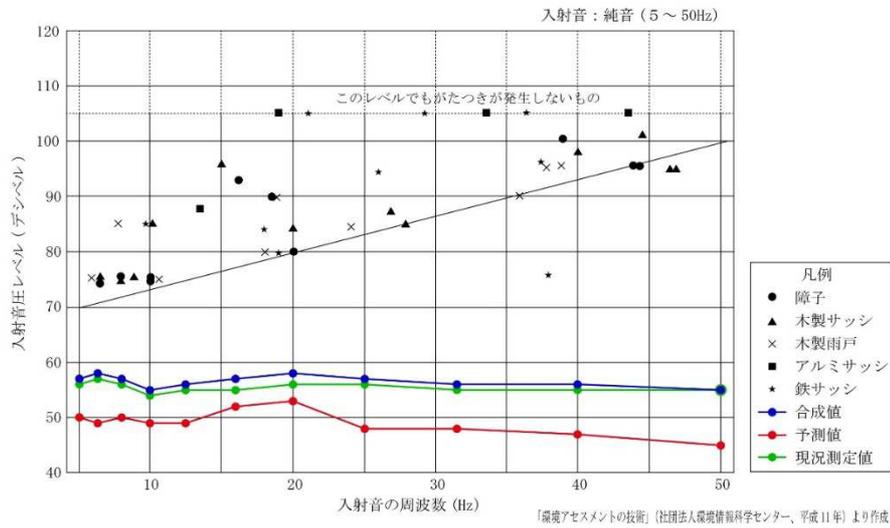


第 12. 1. 1. 4-5 図 (21) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル (周辺 3 : 休日 夜間)



修正後

第 12. 1. 1. 4-4 図(21) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 3 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-5 図(21) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 3 : 休日 夜間)

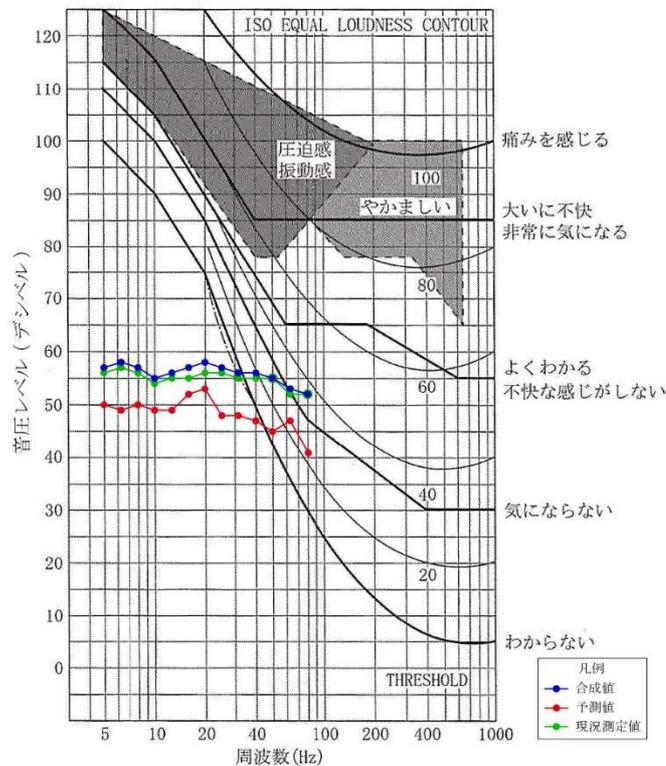
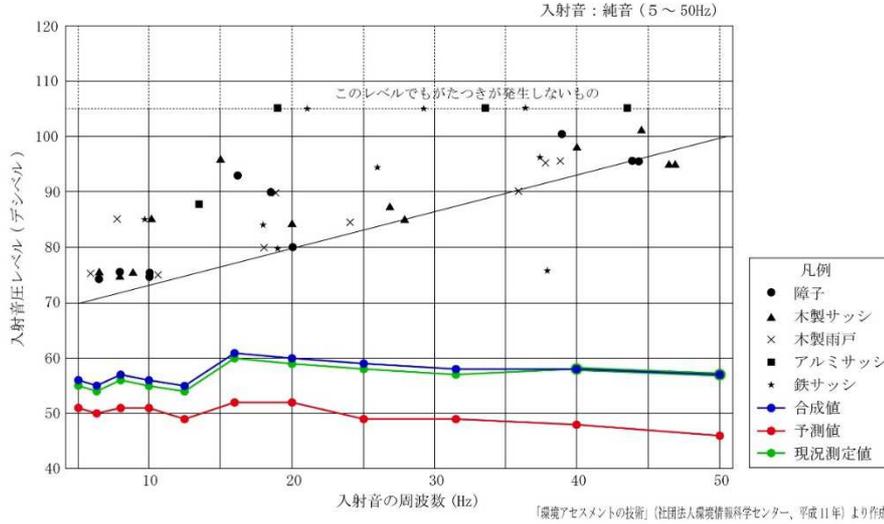


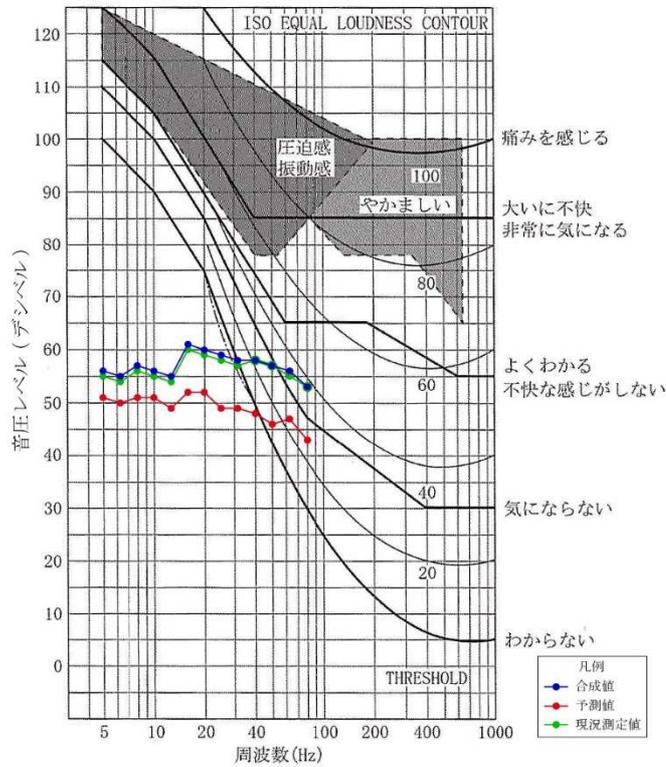
表-47 準備書記載内容の修正内容 (準備書 p12. 1. 1-367 [889])

現行 (準備書 p12. 1. 1-367 [889])

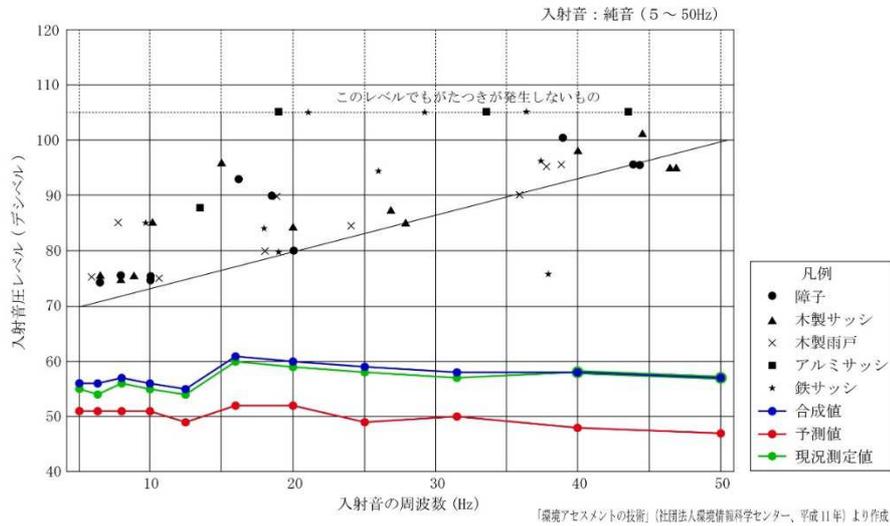
第 12. 1. 1. 4-4 図 (23) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 5 : 休日 夜間)



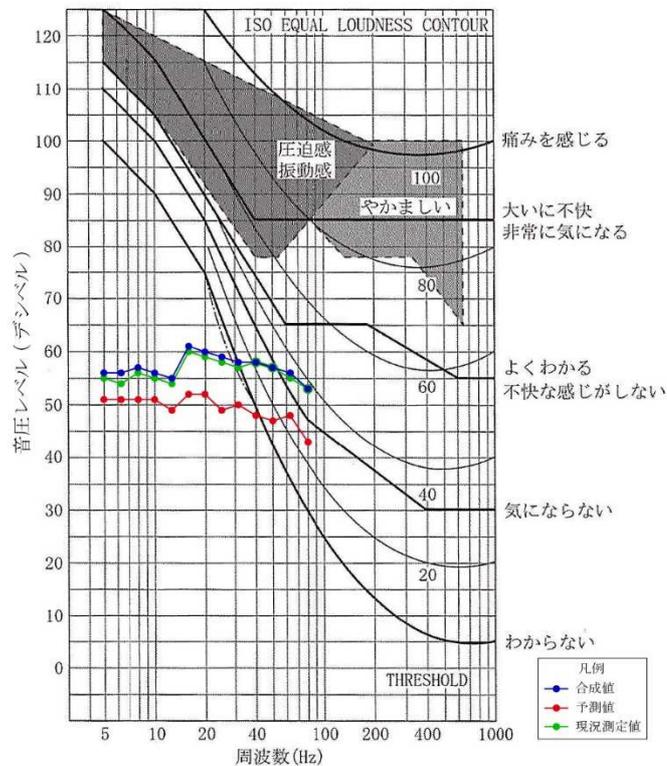
第 12. 1. 1. 4-5 図 (23) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 5 : 休日 夜間)



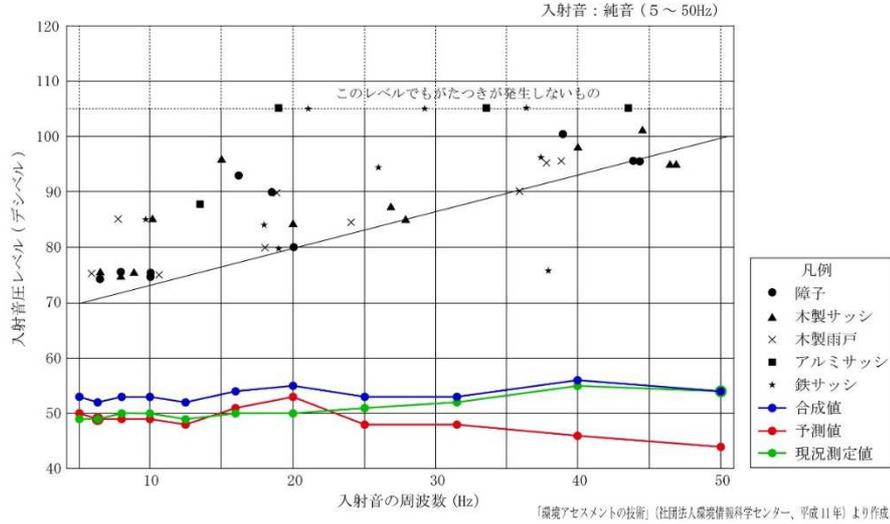
第 12. 1. 1. 4-4 図(23) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 5 : 休日 夜間)



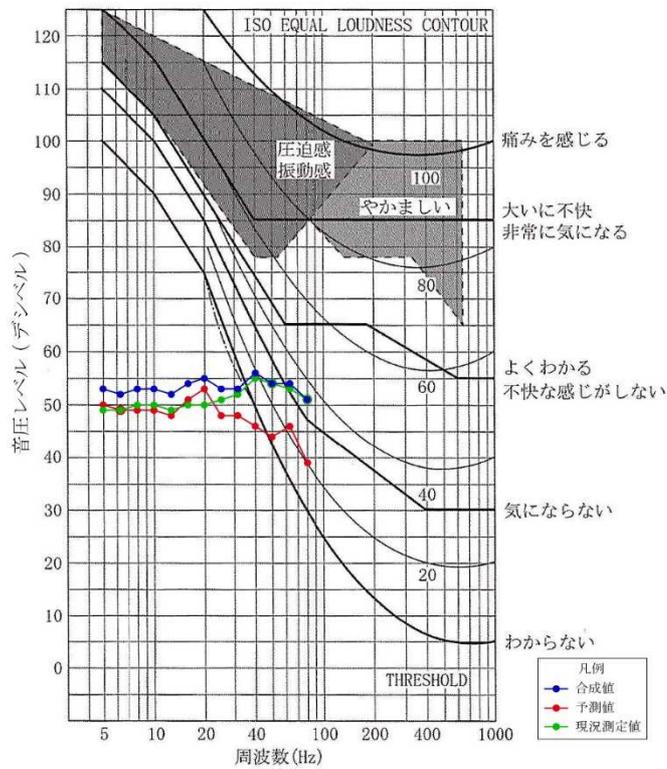
第 12. 1. 1. 4-5 図(23) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 5 : 休日 夜間)



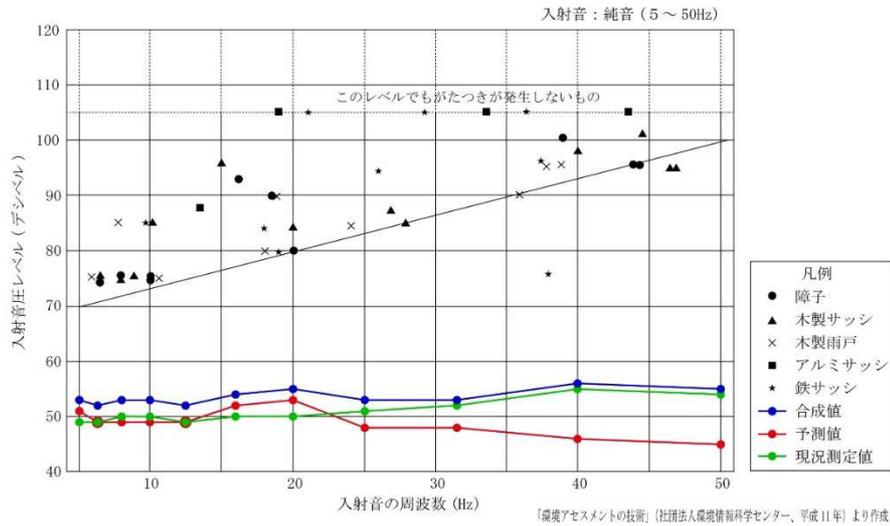
第 12. 1. 1. 4-4 図 (24) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル (周辺 6 : 休日 夜間)



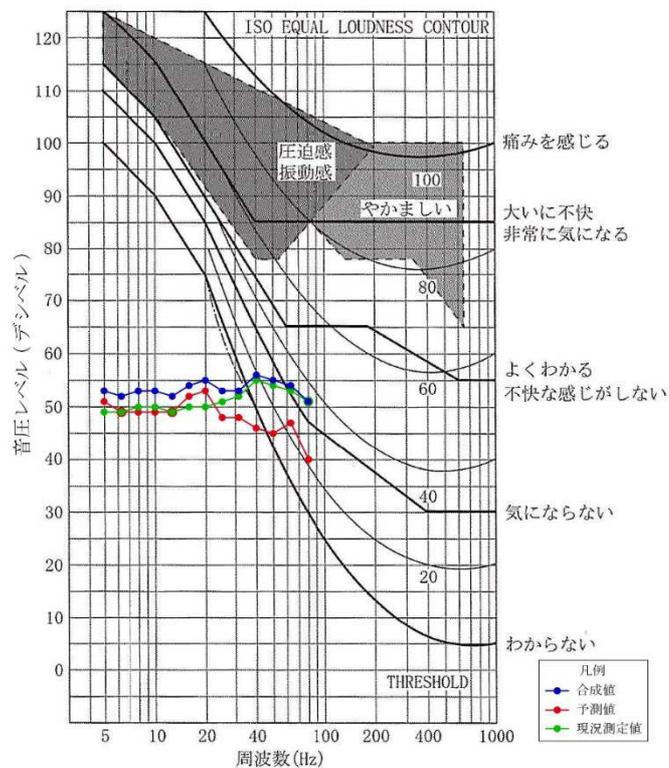
第 12. 1. 1. 4-5 図 (24) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル (周辺 6 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-4 図(24) 建具等のがたつきが始まる低周波音レベル
(周辺 6 : 休日 夜間)



第 12. 1. 1. 4-5 図(24) 圧迫感・振動感を感じる低周波音レベル
(周辺 6 : 休日 夜間)



自主検証の結果を踏まえ、下記「補足説明資料」の予測結果に係る記載内容を変更いたします。

神戸市 環境影響評価審査会	兵庫県 環境影響評価審査会 神鋼神戸製鉄所 火力発電所部会	資料名	頁
第 158 回 資料 8 補足説明資料 (大気質関係)	平成 29 年 9 月 22 日開催 資料 3 補足説明資料 (大気質関係)	2. 「環境の保全と創造に関する条例 (平成 7 年兵庫県条例第 28 号)」に おいて規制基準が定められている 有害物質について	1 - 5
第 160 回 資料 10	平成 29 年 8 月 25 日開催 資料 2 - 1	生態系を考慮した 3 次元モデルに よる解析結果について	6 - 17
第 161 回 資料 18 補足説明資料 (大気質関係 2)	—	8. 水銀について	18
	—	10. 排煙処理設備の経緯ならびに 稼働後のばい煙の排出濃度、 年間総排出量について	19
第 162 回 資料 21 補足説明資料 (大気質関係 3)	—	1. 排煙処理設備の経緯ならびに 稼働後のばい煙の排出濃度、 年間総排出量について (追加説明)	20
	—	2. 水銀排出濃度に関する 他社発電所との比較について	21

表－1 補足説明資料記載の修正内容（資料 No. 8-2）

現行（資料 No. 8-2 p2-3）			
表 2 排煙中の重金属等の微量物質濃度			
予測項目	石炭中の重金属等の 微量物質濃度 ($\mu\text{g/g}$)	大気への排出割合 (%)	排煙中の重金属等の 微量物質濃度 (mg/m^3)
カドミウム及びその化合物	0.13	0.11	0.000016
塩化水素	390	0.37	0.165
ふっ化水素	220	0.66	0.166
鉛及びその化合物	34	0.048	0.00187
銅及びその化合物	22	0.040	0.00101
バナジウム及びその化合物	75	0.031	0.00266
亜鉛及びその化合物	30	0.14	0.00481
セレン及びその化合物	0.55	1.8	0.00113

修正後			
表 2 排煙中の重金属等の微量物質濃度			
予測項目	石炭中の重金属等の 微量物質濃度 ($\mu\text{g/g}$)	大気への排出割合 (%)	排煙中の重金属等の 微量物質濃度 (mg/m^3)
カドミウム及びその化合物	0.13	0.11	0.000016
塩化水素	390	0.37	0.165
ふっ化水素	220	0.67	0.169
鉛及びその化合物	34	0.046	0.00179
銅及びその化合物	22	0.039	0.00098
バナジウム及びその化合物	75	0.031	0.00266
亜鉛及びその化合物	30	0.13	0.00446
セレン及びその化合物	0.55	1.7	0.00107

表－2 補足説明資料記載の修正内容（資料 No. 8-2）

現行（資料 No. 8-2 p2-4）
将来環境濃度への寄与率は最大でも 1.11% であり、環境への影響はほとんどないと考えております。
修正後
将来環境濃度への寄与率は最大でも 1.06% であり、環境への影響はほとんどないと考えております。

表－3 補足説明資料記載の修正内容（資料 No. 8-2）

現行（資料 No. 8-2 p2-4）				
表 3-1 重金属等の微量物質濃度の予測結果				
（単位：ng/m ³ ）				
予測項目	最大着地濃度 ①	五毛丸山		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.11	0.110064	0.06
塩化水素	0.6600	200	200.6600	0.33
ふっ化水素	0.6640	307	307.6640	0.22
鉛及びその化合物	0.0075	4.4	4.4075	0.17
銅及びその化合物	0.0040	2.5	2.5040	0.16
バナジウム及びその化合物	0.0106	3.2	3.2106	0.33
亜鉛及びその化合物	0.0192	13	13.0192	0.15
セレン及びその化合物	0.0045	0.4	0.4045	1.11
修正後				
表 3-1 重金属等の微量物質濃度の予測結果				
（単位：ng/m ³ ）				
予測項目	最大着地濃度 ①	五毛丸山		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.11	0.110064	0.06
塩化水素	0.6600	200	200.6600	0.33
ふっ化水素	0.6760	307	307.6760	0.22
鉛及びその化合物	0.0072	4.4	4.4072	0.16
銅及びその化合物	0.0039	2.5	2.5039	0.16
バナジウム及びその化合物	0.0106	3.2	3.2106	0.33
亜鉛及びその化合物	0.0178	13	13.0178	0.14
セレン及びその化合物	0.0043	0.4	0.4043	1.06

表－4 補足説明資料記載の修正内容（資料 No. 8-2）

現行（資料 No. 8-2 p2-4）

表 3-2 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	北青木		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.15	0.150064	0.04
塩化水素	0.6600	370	370.6600	0.18
ふっ化水素	0.6640	311	311.6640	0.21
鉛及びその化合物	0.0075	6.4	6.4075	0.12
銅及びその化合物	0.0040	6.4	6.4040	0.06
バナジウム及びその化合物	0.0106	4.5	4.5106	0.24
亜鉛及びその化合物	0.0192	26	26.0192	0.07
セレン及びその化合物	0.0045	0.6	0.6045	0.74

修正後

表 3-2 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	北青木		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.15	0.150064	0.04
塩化水素	0.6600	370	370.6600	0.18
ふっ化水素	0.6760	315	315.6760	0.21
鉛及びその化合物	0.0072	6.4	6.4072	0.11
銅及びその化合物	0.0039	6.5	6.5039	0.06
バナジウム及びその化合物	0.0106	4.5	4.5106	0.24
亜鉛及びその化合物	0.0178	26	26.0178	0.07
セレン及びその化合物	0.0043	0.6	0.6043	0.71

表－5 補足説明資料記載の修正内容（資料 No. 8-2）

現行（資料 No. 8-2 p2-5）

表 3-3 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	ポートアイランド		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.15	0.150064	0.04
塩化水素	0.6600	900	900.6600	0.07
ふっ化水素	0.6640	309	309.6640	0.21
鉛及びその化合物	0.0075	6.6	6.6075	0.11
銅及びその化合物	0.0040	6.0	6.0040	0.07
バナジウム及びその化合物	0.0106	11	11.0106	0.10
亜鉛及びその化合物	0.0192	28	28.0192	0.07
セレン及びその化合物	0.0045	0.6	0.6045	0.74

修正後

表 3-3 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	ポートアイランド		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.15	0.150064	0.04
塩化水素	0.6600	900	900.6600	0.07
ふっ化水素	0.6760	312	312.6760	0.22
鉛及びその化合物	0.0072	6.6	6.6072	0.11
銅及びその化合物	0.0039	6.0	6.0039	0.06
バナジウム及びその化合物	0.0106	11	11.0106	0.10
亜鉛及びその化合物	0.0178	28	28.0178	0.06
セレン及びその化合物	0.0043	0.6	0.6043	0.71

表－6 補足説明資料記載の修正内容（資料No. 8-2）

現行（資料No. 8-2 p2-5）

表3-4 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	六甲アイランド		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.14	0.140064	0.05
塩化水素	0.6600	630	630.6600	0.10
ふっ化水素	0.6640	308	308.6640	0.22
鉛及びその化合物	0.0075	5.9	5.9075	0.13
銅及びその化合物	0.0040	6.1	6.1040	0.07
バナジウム及びその化合物	0.0106	12	12.0106	0.09
亜鉛及びその化合物	0.0192	26	26.0192	0.07
セレン及びその化合物	0.0045	0.5	0.5045	0.89

修正後

表3-4 重金属等の微量物質濃度の予測結果

（単位：ng/m³）

予測項目	最大着地濃度 ①	六甲アイランド		
		バックグラウンド 濃度 ②	将来環境濃度 ③=①+②	寄与率 （%） ①/③
カドミウム及びその化合物	0.000064	0.14	0.140064	0.05
塩化水素	0.6600	630	630.6600	0.10
ふっ化水素	0.6760	310	310.6760	0.22
鉛及びその化合物	0.0072	5.7	5.7072	0.13
銅及びその化合物	0.0039	6.1	6.1039	0.06
バナジウム及びその化合物	0.0106	12	12.0106	0.09
亜鉛及びその化合物	0.0178	26	26.0178	0.07
セレン及びその化合物	0.0043	0.5	0.5043	0.85

表-7 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

<p>現行 (資料 No. 10 p20)</p> <p>T-Nについては0.01mg/L、T-Pについては0.001mg/Lの僅かな変化が見られましたが、海域全体として濃度分布に特段の変化は確認されませんでした。</p>
<p>修正後</p> <p>T-Nについては0.01~0.02mg/L、T-Pについては0.001mg/Lの僅かな変化が見られましたが、海域全体として濃度分布に特段の変化は確認されませんでした。</p>

表-8 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

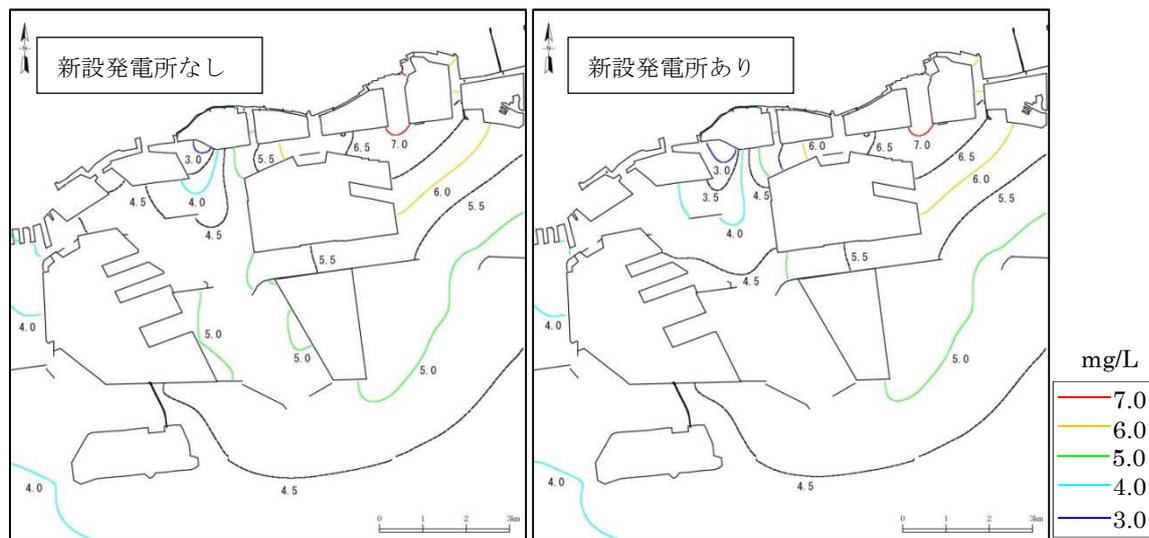
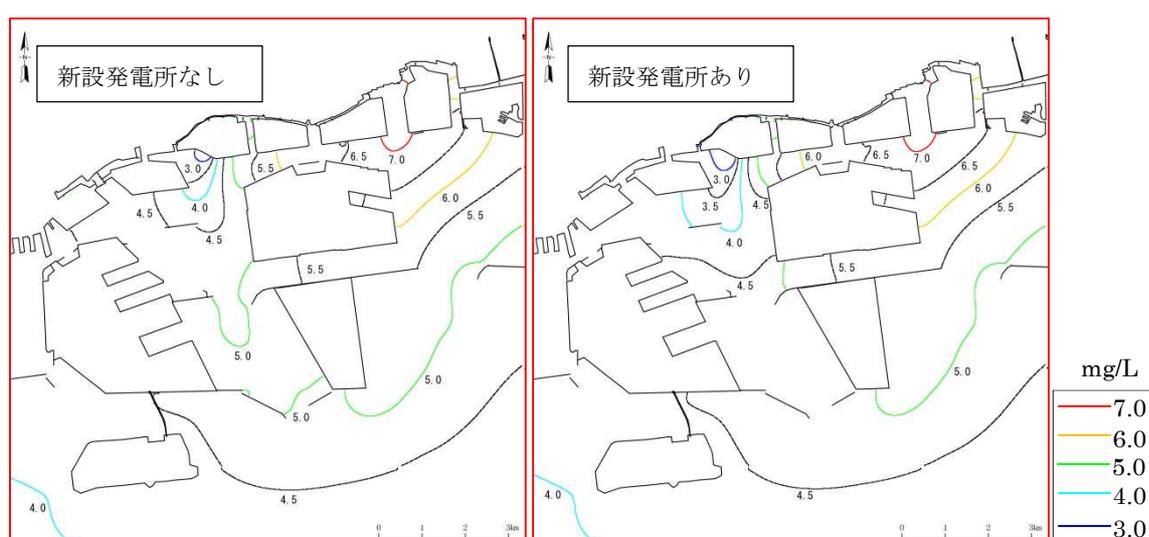
<p>現行 (資料 No. 10 p21)</p>  <p>図 7-1(1) COD の予測結果の平面分布 (表層)</p>
<p>修正後</p>  <p>図 7-1(1) COD の予測結果の平面分布 (表層)</p>

表-9 補足説明資料記載の修正内容 (資料No. 10)

現行 (資料No. 10 p21)

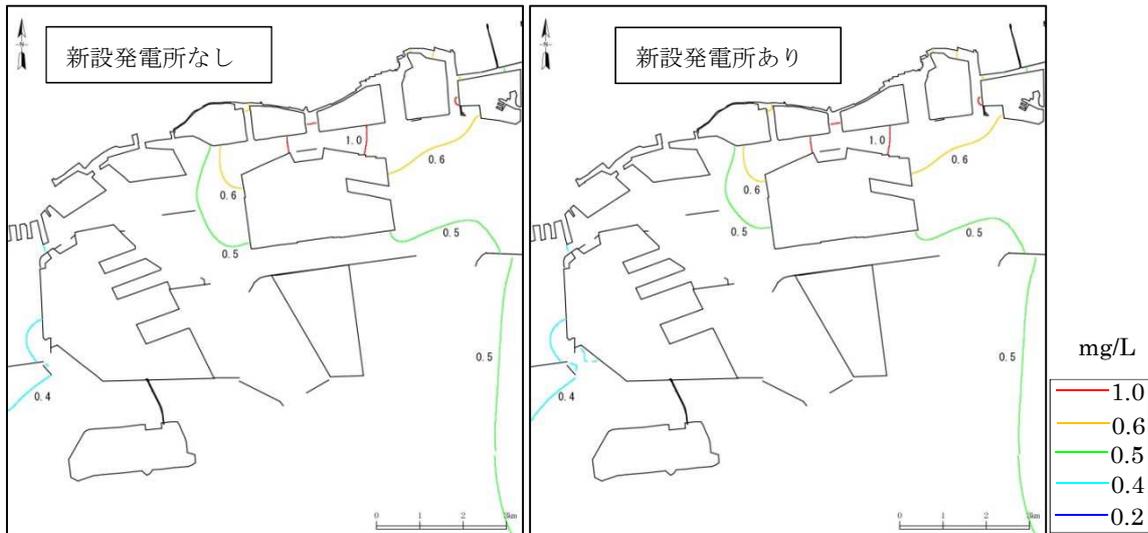


図 7-1(2) T-N の予測結果の平面分布 (表層)

修正後

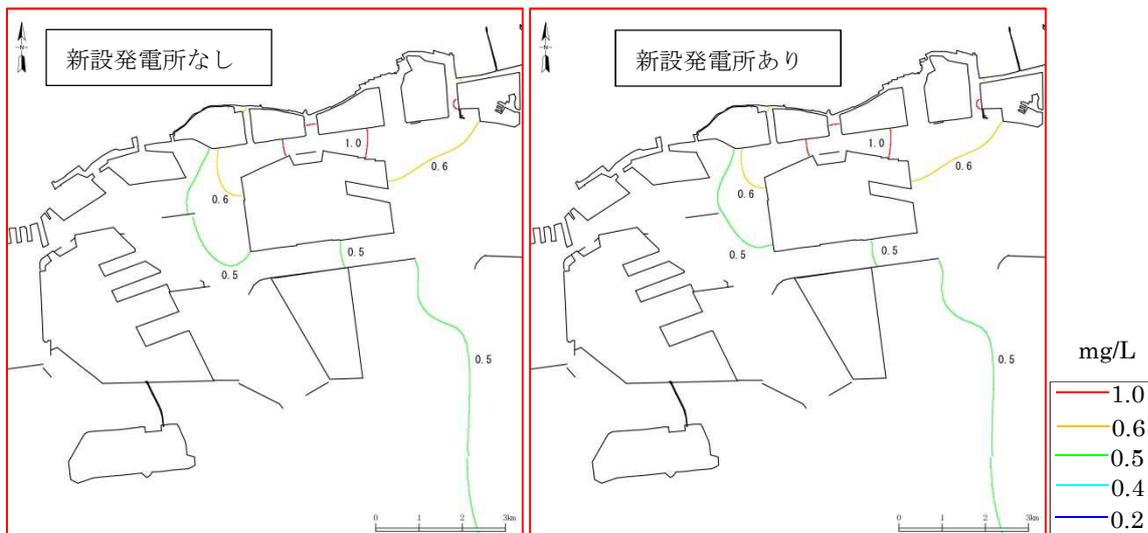


図 7-1(2) T-N の予測結果の平面分布 (表層)

表-10 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p22)

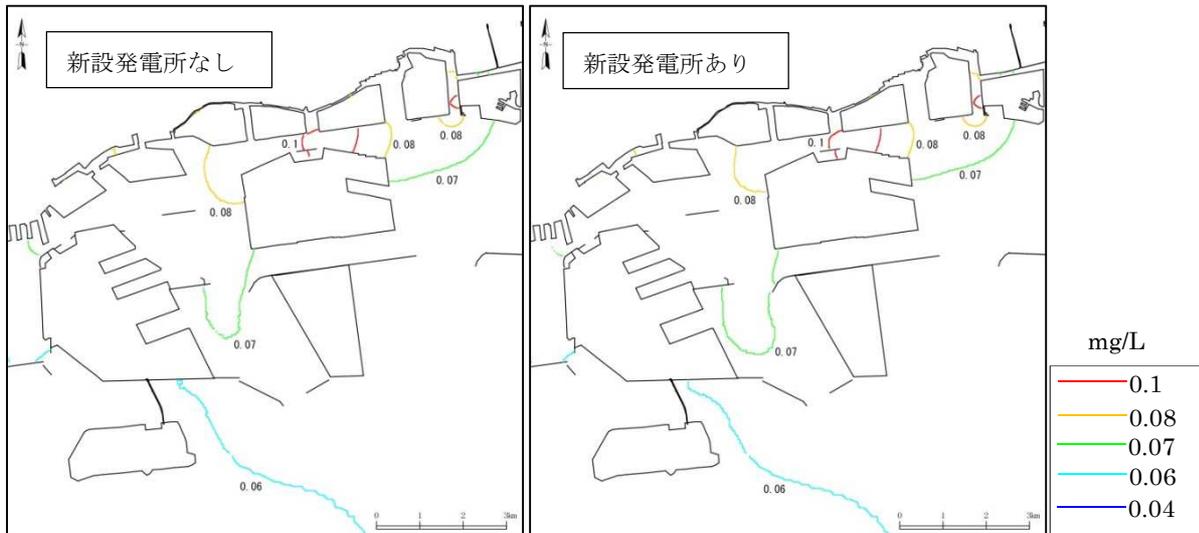


図 7-1(3) T-P の予測結果の平面分布 (表層)

修正後

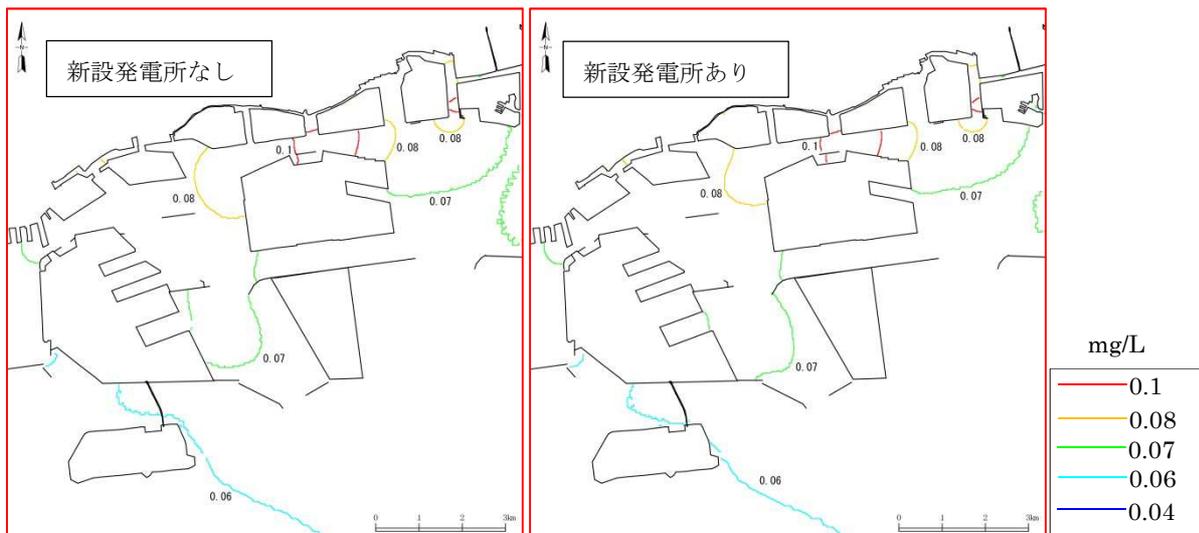


図 7-1(3) T-P の予測結果の平面分布 (表層)

表-11 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

<p style="text-align: center;">現行 (資料 No. 10 p23)</p>
<p>さらに、底層DOについては特に悪化する可能性が指摘されていることから、図 7-3 に示す現地調査等の主な地点での値の比較を行い、予測値を表 7-2 に整理し、稼働後の底層DOの値は放水口周辺で 0.1 mg/L 増加する結果となりました。</p> <p>また、併せて鉛直分布も確認しており、図 7-4 のとおりとなります。</p> <p>今回実施した生態系モデルを考慮したシミュレーション解析では、表 7-3 に示す過去 10 年間の夏季の公共用水域における調査結果の変動幅と比べると増加幅は小さいものの、新設発電所稼働前に比べ、稼働後の底層のDO の値は放水口周辺で約 0.1mg/L 増加する計算結果となり、新設発電所の稼働によって底層の貧酸素状態が助長されることはなく、底層DOはわずかながら増加する可能性が示唆されました。</p>
<p style="text-align: center;">修正後</p>
<p>さらに、底層DOについては特に悪化する可能性が指摘されていることから、図 7-3 に示す現地調査等の主な地点での値の比較を行い、予測値を表 7-2 に整理し、稼働後の底層DOの値は放水口周辺で 0.2 mg/L 増加する結果となりました。</p> <p>また、併せて鉛直分布も確認しており、図 7-4 のとおりとなります。</p> <p>今回実施した生態系モデルを考慮したシミュレーション解析では、表 7-3 に示す過去 10 年間の夏季の公共用水域における調査結果の変動幅と比べると増加幅は小さいものの、新設発電所稼働前に比べ、稼働後の底層のDO の値は放水口周辺で約 0.2mg/L 増加する計算結果となり、新設発電所の稼働によって底層の貧酸素状態が助長されることはなく、底層DOはわずかながら増加する可能性が示唆されました。</p>

表-12 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p23)

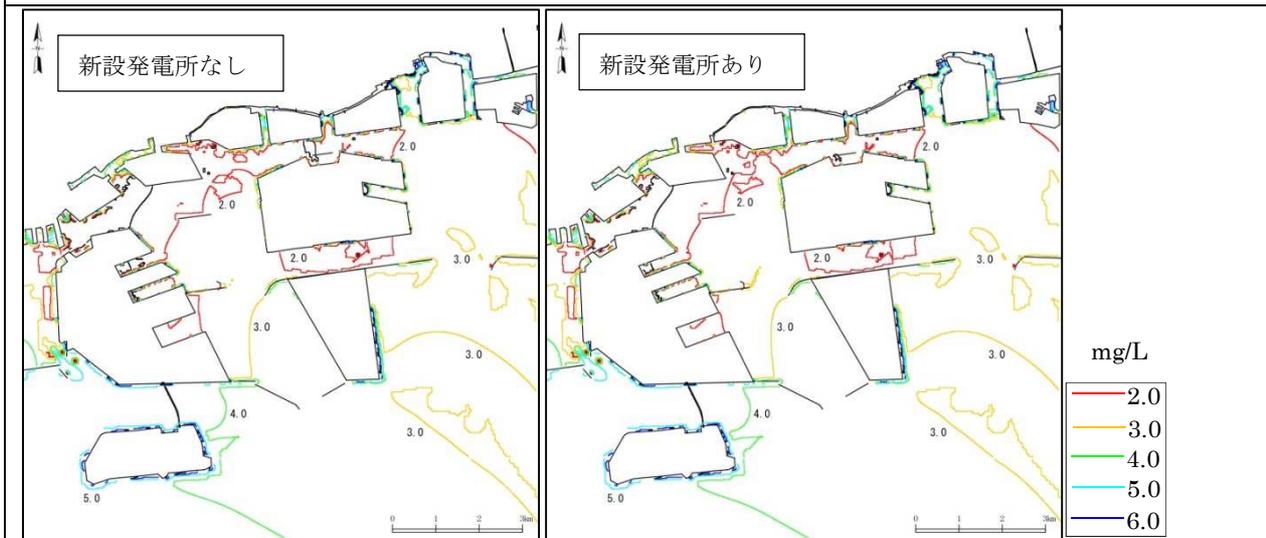


図 7-2 底層 DO の予測結果の平面分布

修正後

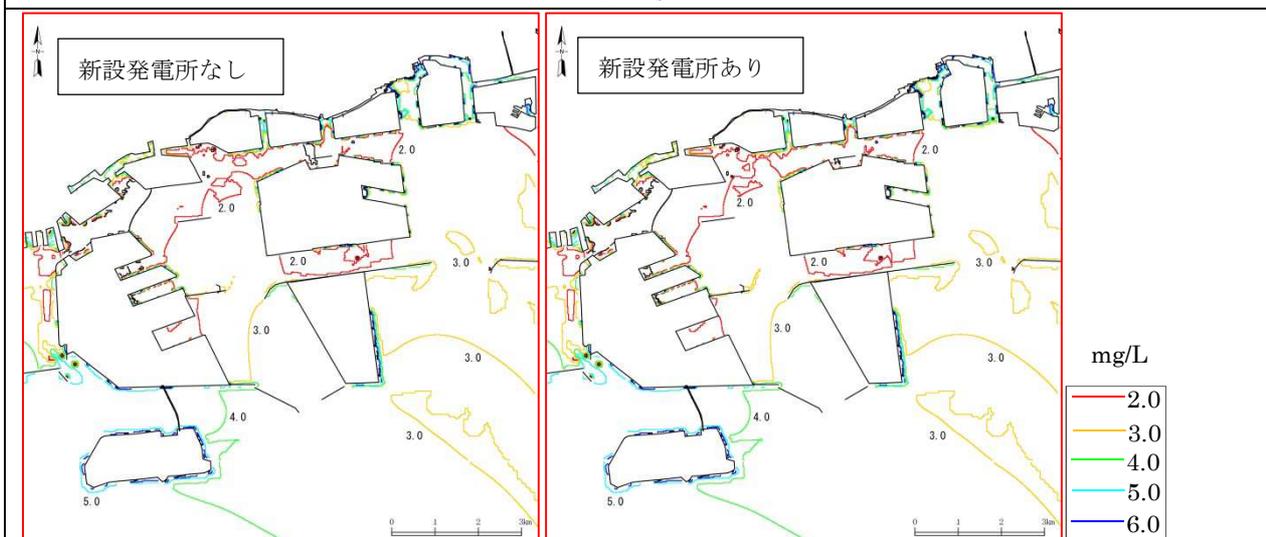


図 7-2 底層 DO の予測結果の平面分布

表-13 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p24)

表 7-2 比較地点の底層 DO の予測値

地点	底層 DO (mg/L)		
	新設発電所なし	新設発電所あり	差濃度 (あり-なし)
4	2.0	2.1	0.1
8	2.0	2.1	0.1
9	3.1	3.2	0.1
10	3.7	3.7	0.0
12	1.3	1.4	0.1
14	2.7	2.7	0.0
16	1.9	2.0	0.1
17	1.0	1.0	0.0
第2工区南六甲大橋	1.3	1.4	0.1

修正後

表 7-2 比較地点の底層 DO の予測値

地点	底層 DO (mg/L)		
	新設発電所なし	新設発電所あり	差濃度 (あり-なし)
4	2.0	2.1	0.1
8	2.1	2.2	0.1
9	3.1	3.2	0.1
10	3.7	3.7	0.0
12	1.3	1.5	0.2
14	2.7	2.7	0.0
16	1.9	2.0	0.1
17	1.0	1.0	0.0
第2工区南六甲大橋	1.3	1.4	0.1

表-14 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p25)

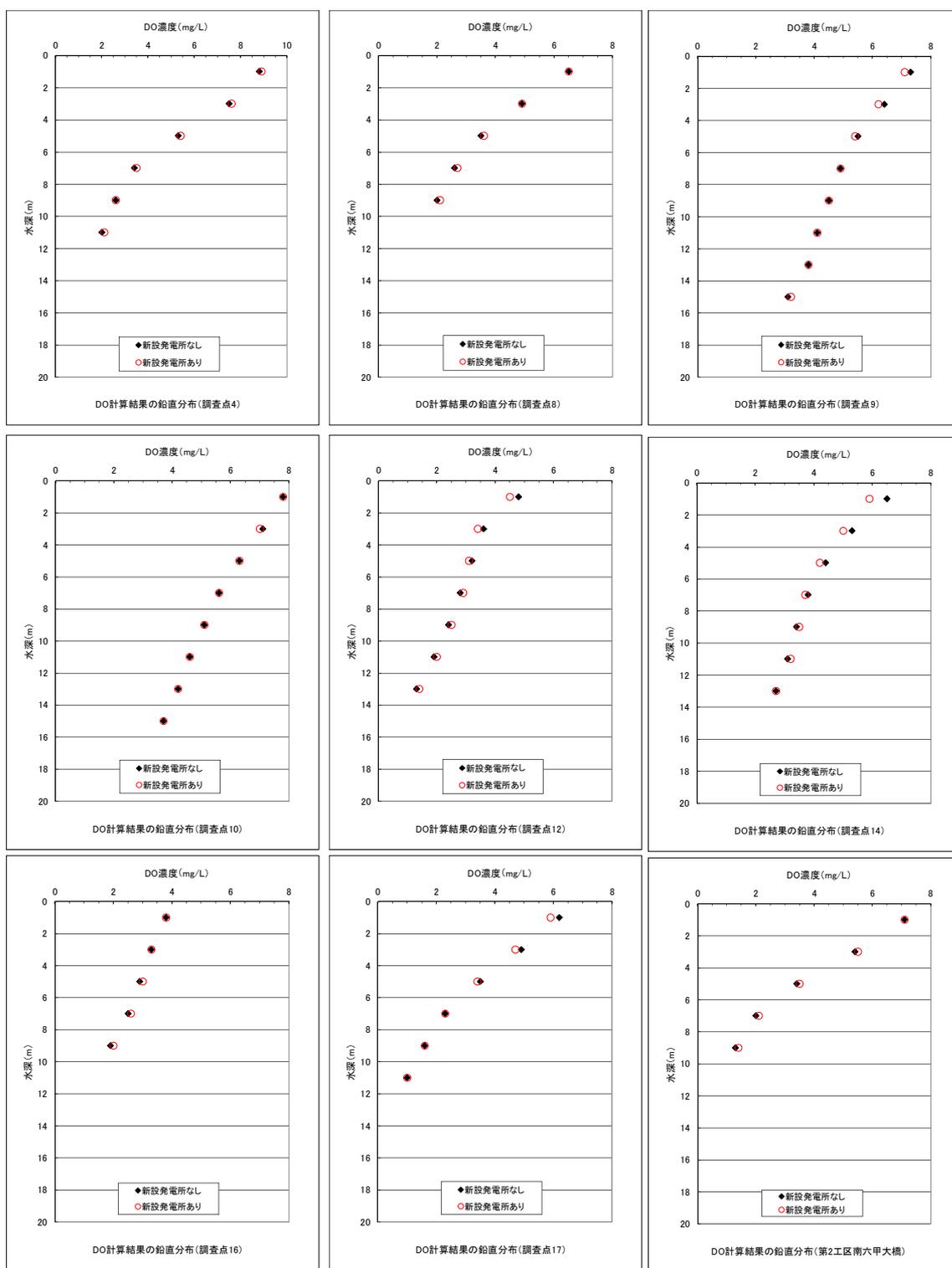


図 7-4 新設発電所稼働前後における各地点の DO の予測結果 (鉛直分布)

修正後

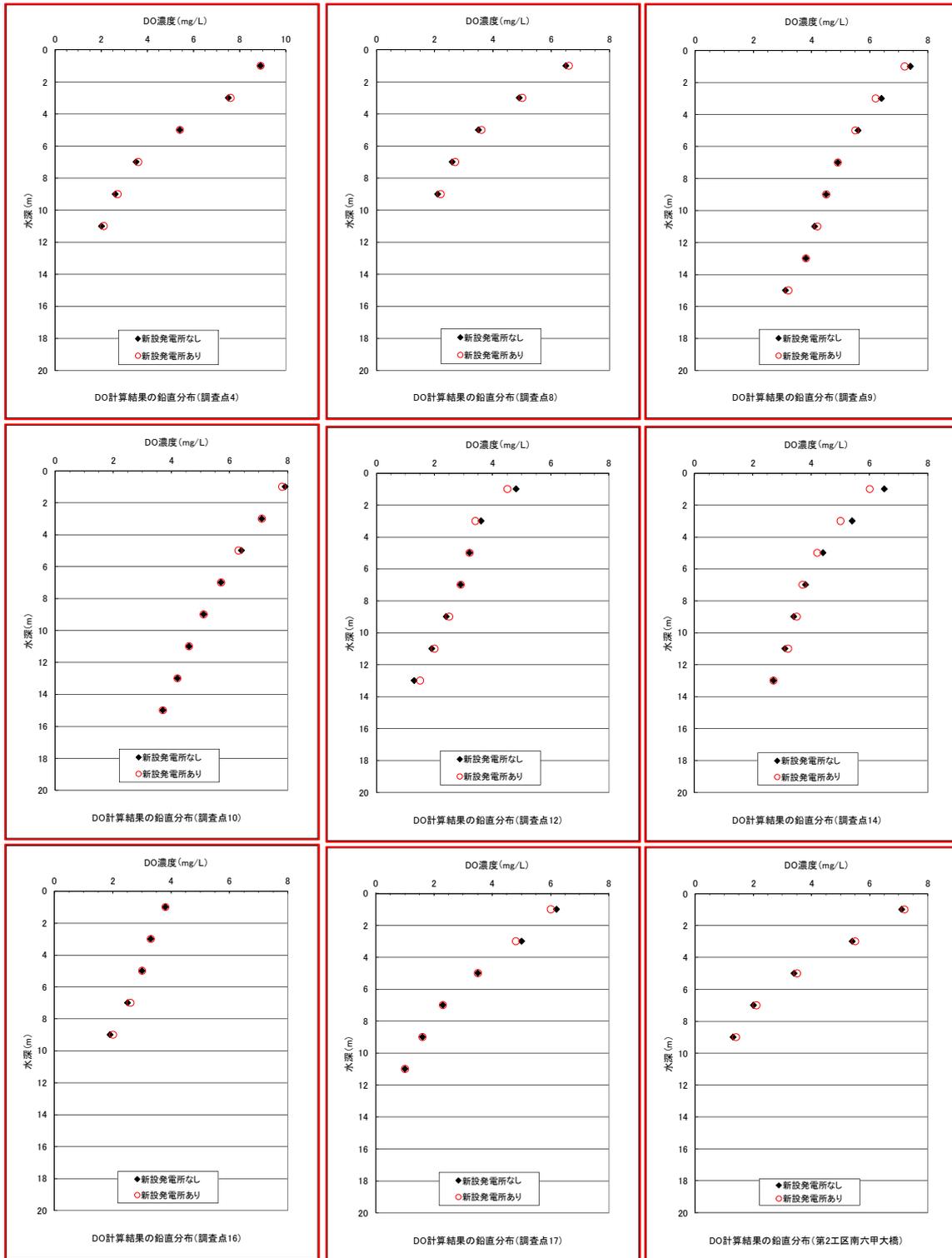


図 7-4 新設発電所稼働前後における各地点の DO の予測結果 (鉛直分布)

表-15 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p28)

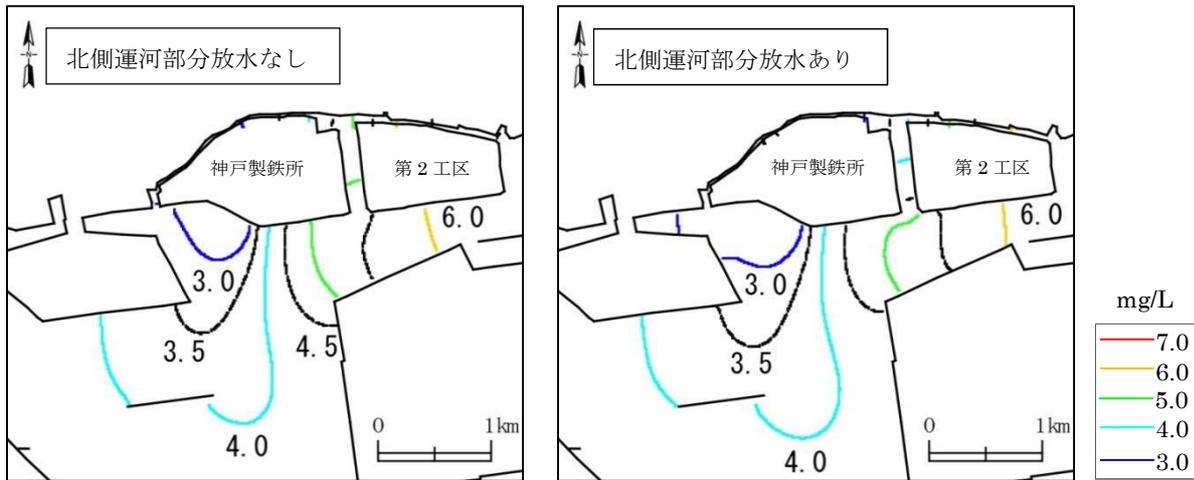


図 8-1(1) COD の予測結果の平面分布 (表層)

修正後

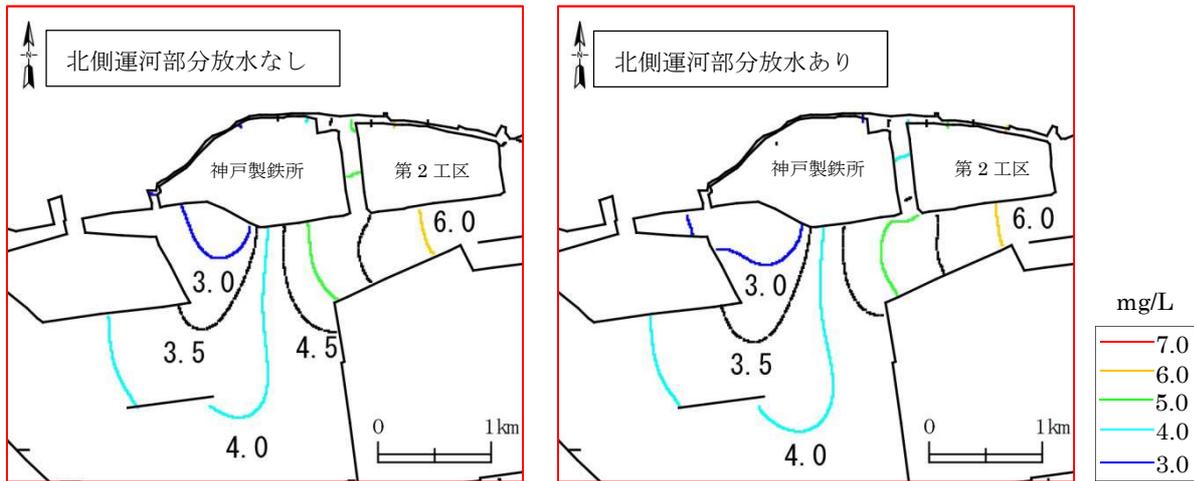


図 8-1(1) COD の予測結果の平面分布 (表層)

表-16 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p28)

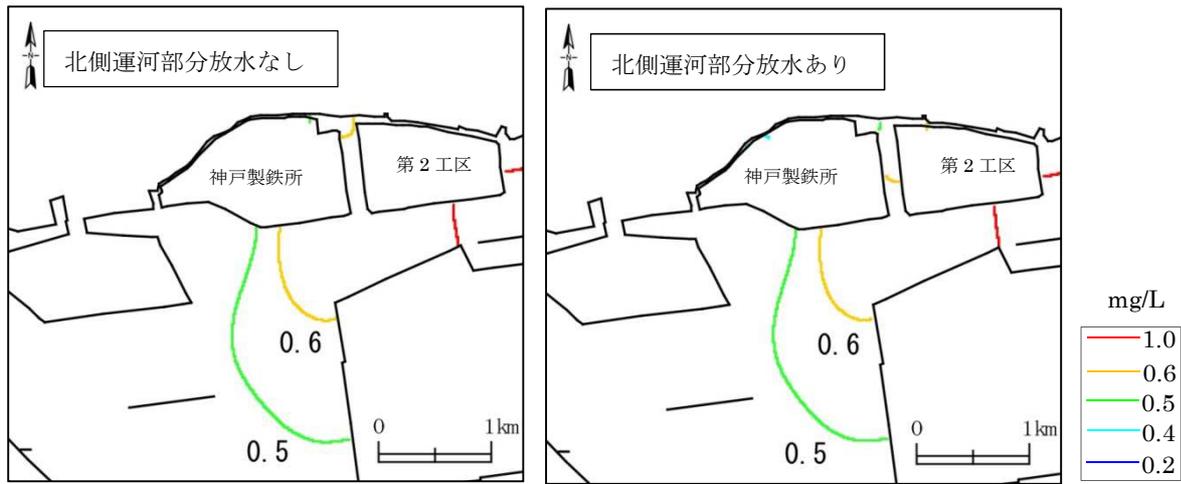


図 8-1(2) T-N の予測結果の平面分布 (表層)

修正後

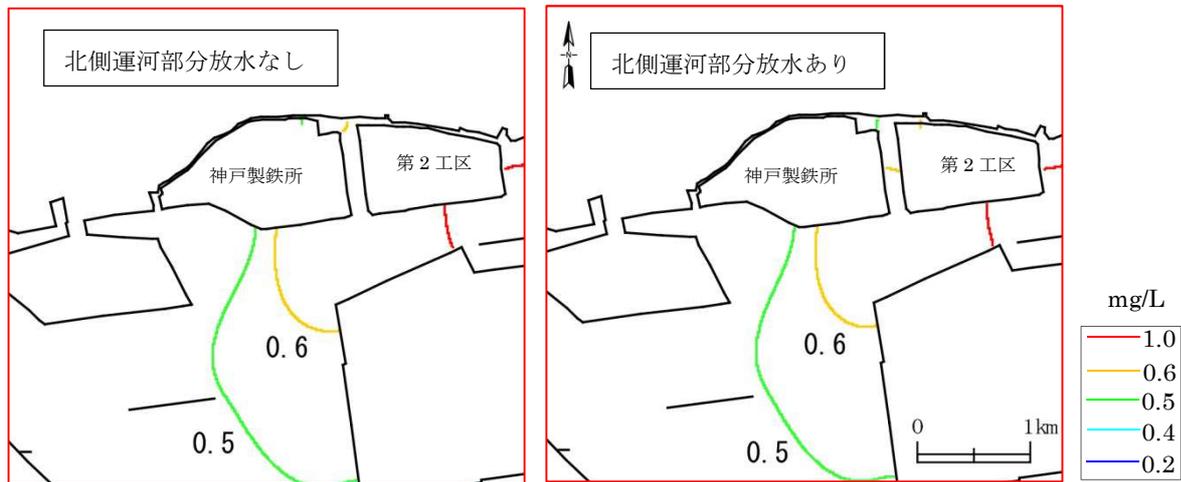


図 8-1(2) T-N の予測結果の平面分布 (表層)

表-17 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p29)

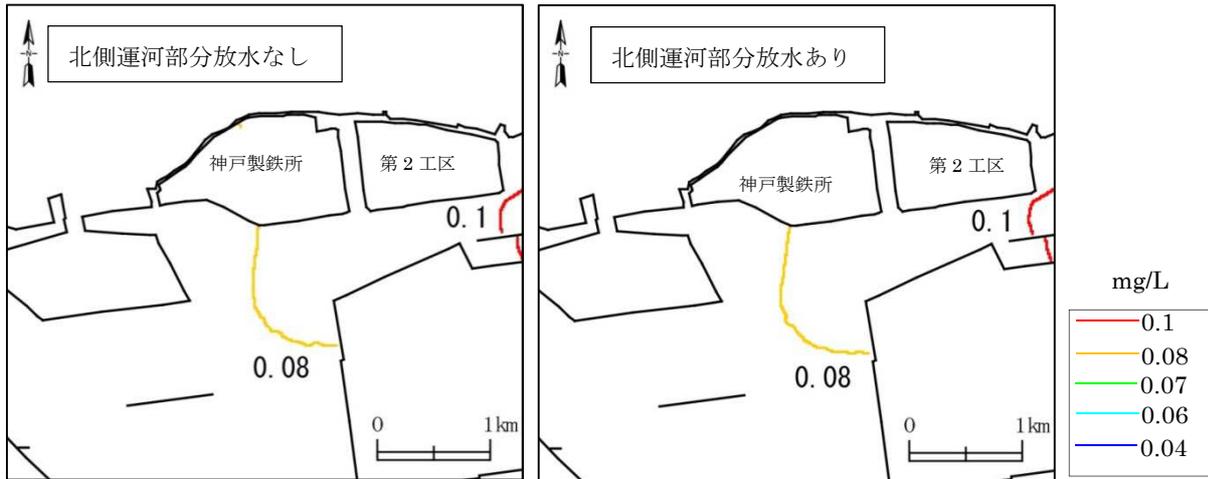


図 8-1(3) T-P の予測結果の平面分布 (表層)

修正後

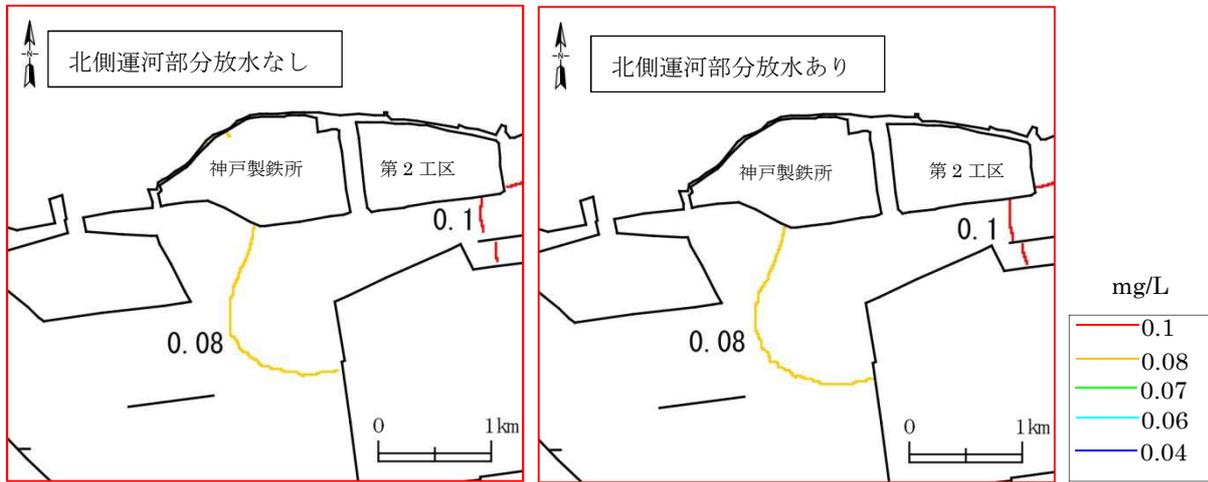


図 8-1(3) T-P の予測結果の平面分布 (表層)

表-18 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 10)

現行 (資料 No. 10 p29)

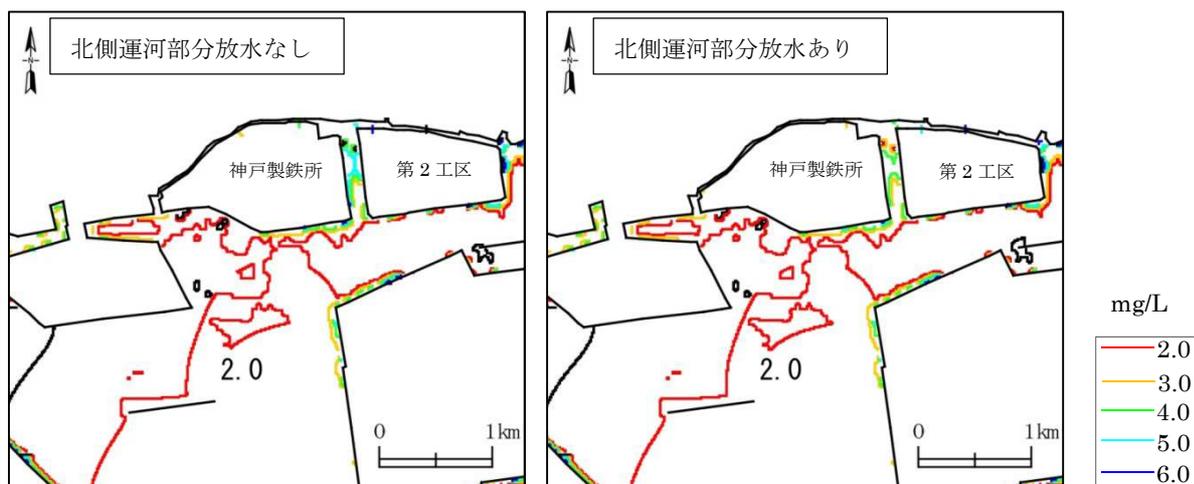


図 8-1(4) DO の予測結果の平面分布 (底層)

修正後

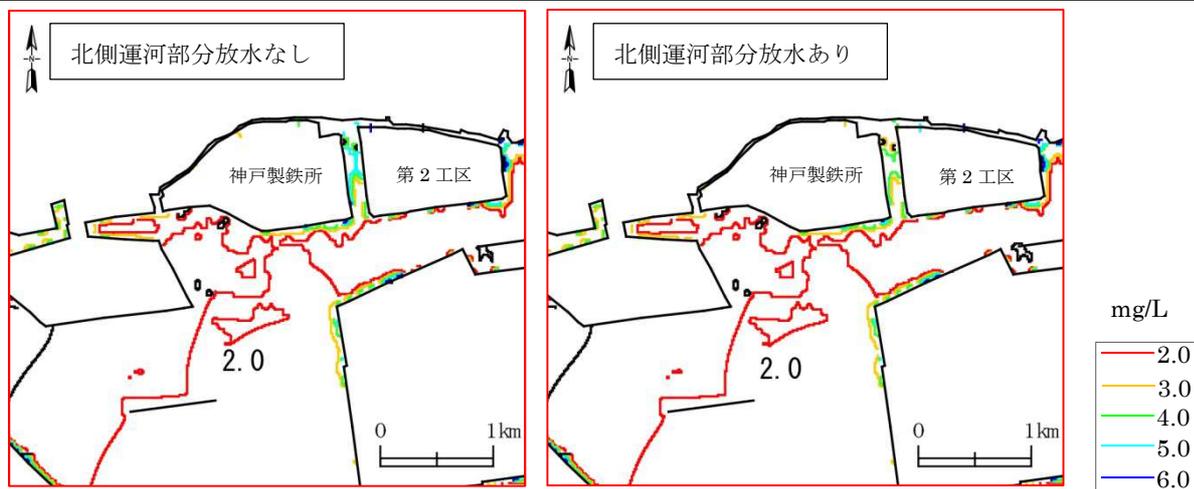


図 8-1(4) DO の予測結果の平面分布 (底層)

表-19 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 18-8)

現行 (資料 No. 18-8 p8-1)	
<p>準備書に記載した水銀濃度は、$0.10 \mu\text{g/g}$ としております。この値は、神戸発電所で使用している石炭（16炭種 51ロット）中の水銀濃度の最大値に変動幅を考慮した数値で、現時点で使用を予定している石炭で最も高い値としております。これより計算される新設発電所の排煙中の水銀濃度は、$3.08 \mu\text{g/m}^3$（準備書 P12.1.1-222）となります。</p> <p>また、上記の平均値は $0.02 \mu\text{g/g}$ であり、これから計算される排煙中濃度は $0.62 \mu\text{g/m}^3$ となります。同様に、最小値は $0.01 \mu\text{g/g}$ であり、排煙中の水銀濃度は約 $0.31 \mu\text{g/m}^3$ となります。</p> <p>新設発電所における排煙中の水銀濃度の平均値は $0.62 \mu\text{g/m}^3$、最小～最大値は、$0.31 \sim 3.08 \mu\text{g/m}^3$ と想定されます。いずれも、今般、大気汚染防止法で新たに定められた石炭火力発電所の排煙中の水銀濃度の基準値（新設：$8 \mu\text{g/m}^3_{\text{N}}$、既設：$10 \mu\text{g/m}^3_{\text{N}}$）を十分に下回っております。</p>	
修正後	
<p>準備書に記載した水銀濃度は、$0.10 \mu\text{g/g}$ としております。この値は、神戸発電所で使用している石炭（16炭種 51ロット）中の水銀濃度の最大値に変動幅を考慮した数値で、現時点で使用を予定している石炭で最も高い値としております。これより計算される新設発電所の排煙中の水銀濃度は、$3.04 \mu\text{g/m}^3$（準備書 P12.1.1-222）となります。</p> <p>また、上記の平均値は $0.02 \mu\text{g/g}$ であり、これから計算される排煙中濃度は $0.61 \mu\text{g/m}^3$ となります。同様に、最小値は $0.01 \mu\text{g/g}$ であり、排煙中の水銀濃度は約 $0.30 \mu\text{g/m}^3$ となります。</p> <p>新設発電所における排煙中の水銀濃度の平均値は $0.61 \mu\text{g/m}^3$、最小～最大値は、$0.30 \sim 3.04 \mu\text{g/m}^3$ と想定されます。いずれも、今般、大気汚染防止法で新たに定められた石炭火力発電所の排煙中の水銀濃度の基準値（新設：$8 \mu\text{g/m}^3_{\text{N}}$、既設：$10 \mu\text{g/m}^3_{\text{N}}$）を十分に下回っております。</p>	

表-20 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 18-8)

現行 (資料 No. 18-8 p8-1)			
表 排煙中の重金属等の微量物質濃度			
	石炭中の水銀濃度 ($\mu\text{g/g}$)	大気への排出割合 ⁴⁾ (%)	排煙中の水銀濃度 ⁵⁾ ($\mu\text{g/m}^3$)
最小	0.01 ¹⁾	26.9	0.31
平均	0.02 ²⁾		0.62
最大 (準備書記載)	0.10 ³⁾		3.08
修正後			
表 排煙中の重金属等の微量物質濃度			
	石炭中の水銀濃度 ($\mu\text{g/g}$)	大気への排出割合 ⁴⁾ (%)	排煙中の水銀濃度 ⁵⁾ ($\mu\text{g/m}^3$)
最小	0.01 ¹⁾	26.6	0.30
平均	0.02 ²⁾		0.61
最大 (準備書記載)	0.10 ³⁾		3.04

表-21 補足説明資料記載の修正内容 (資料No. 18-10)

現行 (資料No. 18-10 p10-3)

【稼働後の年間総排出量】 (将来の石炭性状の変動を考慮した試算値)

	協定値 (年間総排出量)	現状 (2007~2016年度実績)	将来		
			利用率 最小(50%)	基準(70%)	最大(80%)
SOx	730 t/年	製鉄所 123~179 神戸発電所 287~341 合計 410~520 t/年	441 t/年	614 t/年	706 t/年
NOx	1,500 t/年	製鉄所 240~470 神戸発電所 696~858 合計 936~1,328 t/年	931 t/年	1,282 t/年	1,457 t/年
ばいじん	250 t/年	製鉄所 11~ 73 神戸発電所 34~ 69 合計 45~142 t/年	126 t/年	176 t/年	203 t/年

修正後

【稼働後の年間総排出量】 (将来の石炭性状の変動を考慮した試算値)

	協定値 (年間総排出量)	現状 (2007~2016年度実績)	将来		
			利用率 最小(50%)	基準(70%)	最大(80%)
SOx	730 t/年	製鉄所 123~ 176 神戸発電所 303 ~341 合計 426 ~ 517 t/年	444 t/年	619 t/年	706 t/年
NOx	1,500 t/年	製鉄所 240~ 476 神戸発電所 695 ~858 合計 935 ~1,328 t/年	953 t/年	1,289 t/年	1,457 t/年
ばいじん	250 t/年	製鉄所 11~ 73 神戸発電所 34~ 69 合計 45~142 t/年	126 t/年	175 t/年	199 t/年

表-22 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 21-1)

現行 (資料 No. 21-1 p3)					
【稼働後の年間総排出量】 (将来の石炭性状の変動を考慮した試算値)					
	協定値 (年間総排出量)	現状 (2007~2016 年度実績)	将来		
			利用率 最低(50%)	利用率 基準(70%)	利用率 最大(80%)
SOx	730 t/年	製鉄所 123~179	7	7	7
		神戸発電所 303~341	256	359	410
		新設発電所 —	181	253	289
		合計 426~520 t/年	444 t/年	619 t/年	706 t/年
NOx	1,500 t/年	製鉄所 240~476	111	111	111
		神戸発電所 696~858	466	652	745
		新設発電所 —	376	526	601
		合計 936~1,334 t/年	953 t/年	1,289 t/年	1,457 t/年
ばいじん	250 t/年	製鉄所 11~ 73	3	3	3
		神戸発電所 34~ 69	73	102	116
		新設発電所 —	50	70	80
		合計 45~142 t/年	126 t/年	175 t/年	199 t/年
修正後					
【稼働後の年間総排出量】 (将来の石炭性状の変動を考慮した試算値)					
	協定値 (年間総排出量)	現状 (2007~2016 年度実績)	将来		
			利用率 最低(50%)	利用率 基準(70%)	利用率 最大(80%)
SOx	730 t/年	製鉄所 123~ 176	7	7	7
		神戸発電所 303~341	256	359	410
		新設発電所 —	181	253	289
		合計 426~ 517 t/年	444 t/年	619 t/年	706 t/年
NOx	1,500 t/年	製鉄所 240~476	111	111	111
		神戸発電所 695 ~858	466	652	745
		新設発電所 —	376	526	601
		合計 935 ~1,334 t/年	953 t/年	1,289 t/年	1,457 t/年
ばいじん	250 t/年	製鉄所 11~ 73	3	3	3
		神戸発電所 34~ 69	73	102	116
		新設発電所 —	50	70	80
		合計 45~142 t/年	126 t/年	175 t/年	199 t/年

表-23 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 21-2)

現行 (資料 No. 21-2 p7)	
<p>排煙中の水銀濃度は、石炭中の水銀濃度に対する設定の考え方の違いにより、武豊火力発電所の値 ($0.97 \mu\text{g}/\text{m}^3$) に比べ当社新設発電所の最大値 ($3.08 \mu\text{g}/\text{m}^3$) は大きく想定しております。しかし、当社神戸発電所における石炭中水銀濃度の実績の平均値は $0.02 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、武豊火力発電所の準備書記載値 ($0.03 \mu\text{g}/\text{g}$) と同等となっています。</p> <p>排煙中の水銀濃度に関しては、神戸発電所の実績平均値は $0.62 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、武豊火力発電所の準備書に記載された排出濃度 ($0.97 \mu\text{g}/\text{m}^3$) と同等以下と考えております。</p>	
修正後	
<p>排煙中の水銀濃度は、石炭中の水銀濃度に対する設定の考え方の違いにより、武豊火力発電所の値 ($0.97 \mu\text{g}/\text{m}^3$) に比べ当社新設発電所の最大値 ($3.04 \mu\text{g}/\text{m}^3$) は大きく想定しております。しかし、当社神戸発電所における石炭中水銀濃度の実績の平均値は $0.02 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、武豊火力発電所の準備書記載値 ($0.03 \mu\text{g}/\text{g}$) と同等となっています。</p> <p>排煙中の水銀濃度に関しては、神戸発電所の実績平均値は $0.61 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、武豊火力発電所の準備書に記載された排出濃度 ($0.97 \mu\text{g}/\text{m}^3$) と同等以下と考えております。</p>	

表-24 補足説明資料記載の修正内容 (資料 No. 21-2)

現行 (資料 No. 21-2 p7)			
表1 排煙中の水銀濃度			
	当社新設発電所		武豊火力発電所 準備書記載値
	最大 (準備書記載値)	平均	
石炭中の 水銀濃度 ($\mu\text{g}/\text{g}$)	0.10 (実績最大値に変動幅を 加えた値)	0.02 (実績平均値)	0.03 (実績平均値)
排煙中の 水銀濃度 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	3.08	0.62	0.97
修正後			
表1 排煙中の水銀濃度			
	当社新設発電所		武豊火力発電所 準備書記載値
	最大 (準備書記載値)	平均	
石炭中の 水銀濃度 ($\mu\text{g}/\text{g}$)	0.10 (実績最大値に変動幅を 加えた値)	0.02 (実績平均値)	0.03 (実績平均値)
排煙中の 水銀濃度 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	3.04	0.61	0.97